

避難道路の照明について

問 避難道路（西古泉筒井線）の夜間の照明度基準は。

答 岡本町長

松前町の照明は暗いという声が非常に強く、市民の皆様からいただいた。まちづくり課の職員が町内を調査をして、暗いところには照明をつけた。今回できた避難道路は町の主要道路ということで、一定の明るさを確保する必要があると考えて道路照明を設置した。

答 三田まこと課長

町道西古泉筒井線（避難道路）には、歩道用照



西村 元一 議員

徐行しながら前に出て、安全確認を十分にしている。通行するようお願

いた。また、停止線ですら、徐行しながら前に出て、安全確認を十分にしている。通行するようお願

いた。また、停止線ですら、徐行しながら前に出て、安全確認を十分にしている。通行するようお願

いた。また、停止線ですら、徐行しながら前に出て、安全確認を十分にしている。通行するようお願

いた。また、停止線ですら、徐行しながら前に出て、安全確認を十分にしている。通行するようお願



最低制限価格について

問 なぜ最低制限価格の設定をしているのか。

答 岡本町長

注ができるのを100万円も高い2番目のものが落札することが続いた。これは何とかならんのだらうかという中で、1回低入札価格調査制度を入れて、ちょっとした差ができつつあった。品質が確保できることがこちらで確認ができれば、それを落札者とするほうが町にとって利益があるというところでこの制度を入れた。

修正している。入札制度は競争性を担保して町が最少の経費で最大の効果を上げるという目的の一方で、町内の業者を育成するという、業者を疲弊させてはいけないという目的もあると思っている。そのあたりの兼ね合いをうまくできるような制度に、的確に毎回毎回見直しをしながら、業者の意見も聞きながら一番いい制度にしていく努力をしていく。今はそういう考え方で低入札価格制度の調査制度を設けている。

予定価格に対する一定の割合の価格に達しない入札金額を失格とし、予定価格以下で最低制限価格以上の入札者のうち、最低の価格で入札した者を落札者として決定する制度である。

一方、低入札価格調査制度は、最も低い入札金額が調査基準価格を下回った場合に、その入札価格で適正な履行が可能であるかを調査委員会で行い、適正に履行が行われ品質が確保できると認められた場合は、その入札者を落札者として決定する制度である。

当町では、設計金額5千万円未満の工事は最低制限価格制度を採用し、設計金額5千万円以上の工事は低入札価格調査制度を採用している。

また、こうした取扱いについては広く公表しており、業者に対して不公平になるとは考えていない。

答 横山出納局長

公共工事における入札制度については、競争の原理を働かせて、最少の経費で最大の効果を上げるという目的がある。しかし、安い価格で契約することを目指す結果、品質を確保することができなくなることを防止するために2つの制度が設けられている。このうちの最低制限価格制度は、

予定価格に対する一定の割合の価格に達しない入札金額を失格とし、予定価格以下で最低制限価格以上の入札者のうち、最低の価格で入札した者を落札者として決定する制度である。

一方、低入札価格調査制度は、最も低い入札金額が調査基準価格を下回った場合に、その入札価格で適正な履行が可能であるかを調査委員会で行い、適正に履行が行われ品質が確保できると認められた場合は、その入札者を落札者として決定する制度である。

当町では、設計金額5千万円未満の工事は最低制限価格制度を採用し、設計金額5千万円以上の工事は低入札価格調査制度を採用している。

また、こうした取扱いについては広く公表しており、業者に対して不公平になるとは考えていない。